

# 第2回 刑事施設後の地域生活支援講座

～司法と福祉 軽度知的障害を持つ人への支援～

平成26年3月30日（日） 10:00～17:30

於：日本教育会館【8階 第2会議室（詳細は裏面）】

刑事施設を出所・出院した人々への地域生活支援に関する講座を平成24年9月（第1回）に開催させていただき、多くの方々の反響をいただきました。今回は、その第2回の開催となります。

第1回に続き、本講座は、刑事裁判、福祉、教育、医学、高齢介護、更生保護、生活困窮など、【人を支援すること】に必要な総合的な知識の習得と、コーディネート力を持つ人材の育成を目指しており、特に今回は、「軽度知的障害」と呼ばれる人々の現代社会で生きる困難をどう支援するのか、を主要なテーマとしております。前回同様、更生保護法人 同歩会の理事・評議員の有志を中心として構成され、『かりいほ』と『ふるさとの会』方式の伝達など、実践力の習得と向上を大きな目的としています。

【当日スケジュール】 開場：9時50分

10時10分～10時20分 開会

10時30分～10時50分 主旨説明 佐藤幹夫（本会呼びかけ人 フリージャーナリスト）  
『軽度知的障害を持つ人を取り巻く環境（講座主旨説明）』

11時00分～12時00分 基調講演 山本譲司（常任講師・元衆議院議員・著述家）  
『軽度知的障害と現代を生きる困難』  
～休憩（60分）～

13時00分～14時00分 講座 小林隆児（ゲスト講師・西南学院大学教授・精神科医）  
『言語交流のむずかしさはどこにあるか～知的障害を中心に～』

14時10分～14時50分 講座 石川 恒（常任講師・「かりいほ」施設長）  
『「かりいほ」の取り組み～1人ひとりの活動をつくる、地域をつくる～』  
～休憩（10分）～

15時00分～15時50分 講座 水田 恵（常任講師・「更生保護法人 同歩会」理事長）  
『「ふるさとの会」の取り組み～若年層の生活をどう支えるか～』

16時10分～17時30分 シンポジウム 佐藤幹夫・山本譲司・小林隆児・石川恒・西 研・水田恵  
『軽度知的障害をもつ人の生活をどう支えるか』  
～質疑応答（若干名）～

（以上、敬称略）

○参加費：2,500円（受講証を発行します）

※会場にてお支払ください。

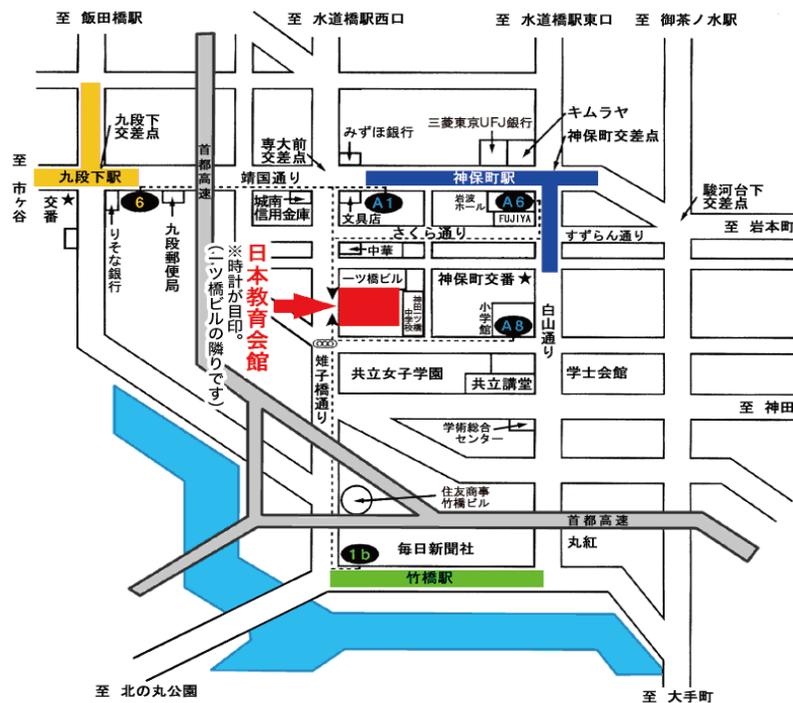
○定員（予定）：120名

【対象】当該の関係諸機関に勤務する人。福祉、教育、困窮者支援、心理、児童福祉など、援助職にある人。これから当該の知識・技能の習得を目指し、刑事福祉・司法福祉のコーディネート職・実践職に就こうとお考えの人。

## 【更生保護法人 同歩会（どうほかい）】

（紹介）東京山谷地域でホームレス支援を行うNPO 法人ふるさとの会が母体となり、平成21年7月高齢・障害によって福祉サービスを必要とする方を対象にした更生保護事業（一時保護事業）を行うために更生保護法人を設立。施設を持たない新しい支援の形として、「つくる」「つなぐ」「うける」「ささえる」の4つのキーワードを軸に事業を展開している。

### <会場案内図>



### 日本教育会館

東京都千代田区一ツ橋 2-6-2

- 東京メトロ半蔵門線、都営新宿線、都営三田線：神保町駅（徒歩約5分）
- 東京メトロ東西線：竹橋駅、九段下駅（徒歩約7分）

## 《お問い合わせ お申し込み先》

更生保護法人 同歩会 （担当：秋山雅彦、藤枝 僚）

NPO 法人 自立支援センター ふるさとの会

〒111-0031 東京都台東区千束 4-39-6 3階

TEL：03-3876-8150 FAX：03-3876-7950

e-mail：[info@douhokai.jp](mailto:info@douhokai.jp)

参加ご希望の方は、下記にご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。なお、メールからもお申し込みいただけます。

ご氏名	
所属団体	
部署名	
役職	
ご連絡先	
メールアドレス	

### 講師・パネリスト（近著など）

佐藤幹夫 『知的障害と裁き～ドキュメント千葉東金事件～』『自閉症裁判』他  
 山本謙司 『獄窓記』『累犯障害者』『火宅の恵み（小説宝石連載中：6月単行本化予定）』  
 小林隆児 『自閉症のこころをみつめる』『自閉症の発達精神病理と治療』  
 西 研 『哲学的思考』『ヘーゲル 大人のなりかた』